

## 13.6/29 南三陸町『弾丸ツアー』ドキュメント

宮城県南三陸町への「弾丸ツアー」に総勢 37 人で行ってきました。

6月28日(金)夜8時半に京都を出発、29日(土)朝に到着後一日中様々な支援活動をしてその日の夜に南三陸を出発、30日(日)朝9時半に京都に帰着するといういつもの通りの強行日程でしたが、みんな元気一杯で今回もまた充実した内容の支援活動となりました。

南三陸への支援活動は今回で9回目、これまでの『ツアー』をあわせると、のべ229人が参加したことになります。

今回は京都生協職員(とその家族)24人と理事さん2人の他、大谷大学と近畿大学の学生9人、鳥取県畜産農協の職員2人も参加しました。

■6/29(土)朝8時半、南三陸の漁協に到着。早速「朝礼」をして活動開始です。



■去年の『海の虹P』に参加した子どもたちも訪ねてきてくれました。



■朝礼終了後早速、牡蠣のいかだを海に繋ぎとめるための土のう「サンドバック」(ひとつが30kgもあります)づくりに全員で取り組みました。気温15℃で霧雨。重労働なので暑くも寒くもなくちょうどいい環境でした。



■経理の武内さん母娘も大奮闘！



■大谷大学の若者たちも奮闘中！



■ 今回の作業でこのサンドバックすべてをつくったワケではありませんが……



■ 「サンドバック」づくりが終了したら、11時半からおよそ100人ほどの漁協の漁師さんたちむけのバーベキューを開始。みやぎ生協の組合員・理事・職員のボランティアのみなさん(緑のピブス)も大勢で参加してくれて、あったかい「温麺」を準備してくれました。





■バーベキューが終了したら、漁協のみなさんと交流会をしました。



■丹後の下田さんの息子、仁くんや、その友達の大谷大のみんなも心に残るともいい発言を積極的にしてくれていました。





■ 2時には登米市の仮設住宅に移動。ここで避難生活をおくっている南三陸のみなさん400人ほどにととても喜んでもらいました。もう何回もここに来ているので、京都生協のボランティアとこの人たちとは既に顔馴染みです。



■ 中丹支部の平井さんたちが支部で育てて持ってきたいろんな種類の花の苗が大好評で、またたく間に無くなってしまいました。



■ たまたま京都の左京区から「音楽による支援」のためにここに来ていたシンガーの松井くんが「ミニコンサート」をひらいてくれました。(松井くんの家は出町柳あたりにあって、京都生協の宅配の昔からの組合員とのこと)



■ 全て無事に終了して出発！仮設住宅のみなさんには、いつものようにあたたかく見送っていただきました。



■ 志津川湾の戸倉地区の海。街はあの時のまま何も無い更地のままで、復興はまだまだ先のことだと感じますが、海は少しずつ再建に向けて動き始めているようにも見えます。

